

春日井市一般廃棄物処理基本計画（素案）の要点

計画全体に関すること

1 ごみ処理基本計画と生活排水処理基本計画を統合

本市の一般廃棄物処理の全体像を一体的に示すことができるとともに、計画の策定・進行管理を効率的に実施するため、2つの計画を統合し一本化。

2 脱炭素化の視点の追加

令和3年6月に「ゼロカーボンシティかすがい」宣言を行うなど、廃棄物処理分野においても脱炭素社会の実現に向けた取組が求められていることから、今後の課題や基本方針等に追加。

3 SDGsの視点の追加

廃棄物処理基本計画とSDGsを一体的に推進するため、廃棄物処理に関する施策とSDGsの目標を関連付け。

4 各主体の責務・役割の追加

計画を効果的に推進するため、市民・事業者・市に期待される役割の記載を追加。

5 産業構造の追加

本市の概況のなかで、産業構造に関する記載を追加。

ごみ処理に関すること

6 プラスチック資源循環促進法への対応

令和4年4月に施行された新法に対応するため、プラスチックごみの削減や資源化に関する施策を追加。

7 食品ロス削減推進法への対応

令和元年10月に施行された新法に対応するため、本市の食品ロス量の推計や削減のための施策を追加。また、新法で市町村の努力義務となっている「食品ロス削減推進計画」を内包する形で策定。

8 市民意識調査結果の追加

市政全体の市民意識調査結果から、廃棄物処理に関する内容を記載。ごみ減量、環境美化に関する施策の満足度・重要度や、ごみ減量に取り組む市民の割合など。

9 発火性危険物によるクリーンセンター等の火災への対応

近年、バッテリー内蔵製品等の発火性危険物に起因するクリーンセンター等での火災が発生していることを踏まえ、課題や施策に追加。

10 基本方針と施策体系をシンプルに分かりやすく整理

前計画の4つの基本方針を2つに統合・整理するとともに、11の基本施策を6つに整理。

11 計画目標（成果指標）の見直し

「1人当たりごみ処理費用」は、人件費・燃料費の高騰等の社会情勢の影響を強く受け、収集処理の効率化等の自助努力による削減の目標としては適当ではないため削除する。代わりに、国が「廃棄物処理基本方針」において目標の一つとしている「最終処分量」を採用し、ごみの減量や資源化の推進による最終処分量の減量を目指す。

12 その他

目標値や目標達成時のごみ排出量の予測、目標達成に向けた具体的施策については、中間案で示す。

生活排水処理に関すること

13 要点をまとめたシンプルな構成

前計画では全8章にわたり構成されていた計画を3章で再構成。

14 計画目標を新たに設定

前計画で目標を達成したことから、今計画では新たな計画目標を設定し、中間案で示す。

15 目標達成に向けた基本方針に基づく施策を整理

目標達成に向け、2つの基本方針と各基本方針に4つの施策を設定。